

ちようほう 絆 第8号

～大道理ならではの
豊かな暮らしの実現～



<編集・発行>大道理をよくする会広報部 <問い合わせ>大道理をよくする会 88-1800 (大道理公民館)



展望所からの眺め
海の向こうにうっすら国東半島も！

大高神山 (647.3m)

展望所に「眺望図の看板」が設置されました！
「大高神山を守る会」のご苦勞と皆様のご協力で、立派な看板が出来上がりました。元日には年頭登山が開催されますので、この機会にご覧になってはいかがでしょうか。

ほっとな話題



ふるさと資料館を見学
昔の暮らしに興味深々



沼城小学校3年生のみなさん



シリーズ「みーつけた！」
海を渡る不思議な蝶
「アサギマダラ」

秋になると飛来する可憐な蝶。今年も大畠地区の畑に、十数匹現われ一週間ほど滞在。小さな羽で、渡り鳥の如く千五百キロも移動するといふ。来年も来てね。

これからの行事予定

日時	内容
毎月第4水曜 (12月は休み)	おさそいサロン 場所: 公民館
1月1日(水)	年頭登山 場所: 大高神山
1月12日(日)	新年会と新成人・ 還暦を祝う会 場所: 体育館
2月11日(火)	ふれあいウォーキング 場所: 地区内
3月23日(日)	古紙回収 集荷場所: 未定

《里の案内人だより》

第一号、河内地区の田原さんを訪ねました。空き家バンクを利用して移住された家はきれいに修理され、前の田んぼは、耕されていろいろな野菜が植えてあります。ご主人は、家の修理や、倉庫に残っていた古い耕運機を再生するなど、とても器用な方のようにです。借家住まいに比べて、静かだけれども寂しい気もする。と笑っておられる。これは、大道理じゆう同じ悩みです。近所の方は「これまで荒れ放題だった田んぼがきれいになって、とても嬉しい」と言っておられます。移住された方が地域に馴染まれるよう、気を配っています。

編集後記

夏の暑さでスイカは早くあがり、秋にはイノシシにさつまいもを食われ、虫の発生で白菜の葉はレース状と、今年の農作物は散々なでき。まあこのくらいは我慢しましょう。伊豆大島やフィリピンの被害のことを思えばたやすいこと。どうか神様、我々にこれ以上の試練を与えたもうな。来年が良い年でありますように！

大道理の人口

(H25.11月末現在)
男性 182人
女性 226人
総人口 408人

世帯数 188世帯
高齢化率 49.5%
(65歳以上)

大道理地区拠点施設づくり

まずは運動場への進入路を広げる工事からスタート!



工事前



現在(拡幅工事中)

これまで

平成23年3月の休校後、小学校の利活用に向けて検討を続けてきました。今年度は、具体的に考える諮問会議を3回開催し、施設の設計や進入路の拡幅、現在の支所の跡地整備などを検討し、役員会で承認、10月27日開催の住民説明会と回覧資料で地域の皆さんにお知らせしました。

これから

いよいよ進入路を1.5m広げる工事が始まりました。少し広げただけで随分景観が変わり、便利になります。この工事が終わると、建物や外まわりの改修工事に取りかかり来年の8月下旬まで続きます。10月中旬オープン予定。楽しみですね!



工事車両の出入りが頻繁になります。交通事故に注意しましょう!

|| 家族のまん中に広報紙 ||

大道理に加工所を作りたい!
夢を実現するアツイ思い!

大道理をよくする会では、夢プランの中の『地域にあるものを活かした特産品をつくらう!地域の特産品を売ろう!』の実現に向けて、加工所をつくりたいと考えています。これまで経済部を中心に、加工についての勉強会や先進地視察を実施してきました。

今年度、女性七名を中心に加工準備会を結成し、加工の内容について考えています。「地域の野菜を活用して、お弁当を作ろう!」と意見がまとまり、市や県の職員さんからアドバイスを頂きながら、献立を考えては試食を繰り返ししました。

お弁当を作ろうというアツイ思いの反面、本当に売れるのか?不安もあります。そこで実際にお弁当を作って配達する模擬実験とアンケート調査を市の職員さん三十名を対象に四回実施しました。お弁当づくりをした加工準備会の山田さんは、「とにかく楽しかったです!加工所は、年代に関係なく女性が楽しく集える場。加工所ができたら多くの方に参加してもらいたい」と感想を話されました。



加工所について教えて!

誰が、何のために作るの?

加工所はよくする会が作ります。地域の方が作る農産物を加工して販売することで、関わる人の生きがいや農業の活性化、消費者との交流につながることを目的です。将来、得た収益を住みよい地域づくりに活用していければと思います。

どんな役割で関わられるの?

加工所は加工する人の他に、運ぶ人や販売する人、営業する人、事務をする人、野菜を作る人、そして商品を買って食べる人など沢山の人が関わって成り立ちます。地域の皆さんが、色々な形で関わり、みんなで盛り立てていければと思います。

いつ、何処に作るの?資金は?

来年度作りたいと考えていますが、場所は検討中です。建設には多額の資金が必要で、県や市からの補助金が3分の2あるものの、残りの3分の1が地元負担となります。現在、建築費等をおさえて地域の負担が少しでも軽くなるよう、場所の選定や内容を考えています。今後地域の皆様に、ご理解ご協力をいただくことがあると思いますので追ってお知らせします。



「ここまで大変な苦労があった」とのこと。そのパワフルな力を頂きました。

八月二十八日、加工所の視察研修で小行司健康グループ(田布施町)を訪ねました。「何もない五十世帯百人の地域に元気を!」との思いで、二十人の女性がグループを結成しました。地域の食材を生かし、味噌や菓子、惣菜、こんにやく、漬物など、数々の開発製造販売を手掛け、平成二十四年には、農林水産大臣賞を受賞しました。隣接の直売所や食堂も経営しながら、今ではゆめタウン柳井へも出荷しています。

視察研修
小行司(こぎよつじ)の
お母さんたちはパワフル

芋掘り体験交流



近隣の小学校に芋掘り体験募集のチラシを配布。申し込みのあった四組の方と芋掘り体験をしました。元々就農希望の中村くんは、畑に生き活きしています。



地域おこし協力隊

情報発信



インターネットにつながるパソコンやスマートフォンで「大道理ブログ」と検索したら見られますよ。

向道支所の隣りの部屋が隊員事務室。インターネットで、大道理の様子を発信しています。

地域おこし協力隊員
中村隊員の活動あれやこれや

サロンの送迎

一人でも多く送迎を始めてほしい!と徐々にならなう。利用者が増え、送迎が不足する。送迎を始めてほしい!と徐々にならなう。



パソコン教室の先生

地域の要望からパソコン教室の先生。五十代から八十代まで、レベルも様々な生徒を笑顔で教えています。

